

[第18回全国大会公開シンポジウム]

East meets West in Nagasaki

——文化の際会、混淆、共生 をめぐって

- 第18回全国大会(長崎大学開催)報告およびお礼 ● 葉柳和則 003
- [基調講演]
From Culture as a Code to Culture as Practice ● 王向華 006
- [パネル・ディスカッション] 017
- [討論者] 白石さや / 鈴木章能 / 細田尚美
 - [司会] 葉柳和則
- [エクスクーション報告]
● ヌルガリエヴァ・リヤイリヤ / 葉柳和則 030

フォーラム「私の国際文化学」

——多様な学問分野との関係性から 034

- [フォーラム報告者] 坪井睦子 / 吉田栄人 / 吉岡剛彦
/ 久松英二 / 相原征代
- [モデレーター・報告統括] 植野雄司

ICCO成果報告

- 2019年度 ICCO 短期集中セミナー報告
- 松居竜五 052
- ICCO 資格取得その後——文化発信の視点から
- 島田果奈 056

浦上の「受難」と「復興」における文化の存続
 ——キリスト教修道士・岩永富一郎の活動を中心に ● 桐谷多恵子 063

「記念碑の細分化」がもたらす文化観光の
 質的変容について
 ——ベルリンにおける事例分析を中心に ● 斉藤理 080

立ち枯れの木が語るナショナル・アイデンティティ
 ——フィンランドのナショナル・ロマンティズムにおける風景画
 ● 田中佑実 102

教育言語の英語化という社会実験
 ——カザフスタンに見る大学教育改革の課題
 ● 岩野雅子／大場智美 117

飯森明子編著『国際交流に託した渋沢栄一の望み
 ——「民」による平和と共存の模索』 ● 藤田賀久 126

【会員の著書紹介】 130

* 飯森明子編著『国際交流に託した渋沢栄一の望み——「民」による平和と共存の模索』

* 田島樹里奈『デリダのポリティカル・エコノミー——パレルゴン・自己免疫・暴力』

* 朝河貫一博士没後70年記念プロジェクト実行委員会・国際文化会館発行

『朝河貫一博士——没後70年記念シンポジウム——講演録』

* 李光宰『乾杯の経済学——韓国のビール産業』

【博士論文紹介】

『ディアナ・アブカーと来日アルメニア人難民

——20世紀初頭の日本におけるアブカーの人道的活動』 ● メリネ・メスロピャン 133

【国際文化学 私の3冊】

人、物、言葉

——テクノロジー至上主義時代における人文学の役割 ● 岩野雅子 135

【学会活動ニュース】

長崎大学での全国大会において大学院生交流会を開催 ● 松居竜五 142

英文目次 144

ABSTRACT 145

編集後記 148

日本国際文化学会2019年度事業報告 149

日本国際文化学会第18回全国大会プログラム 150

日本国際文化学会第19回全国大会開催予告 156

第9回平野健一郎賞受賞者 158

全国大会発表要項について 159

2019～2020年度役員及び各種委員一覧 161

日本国際文化学会規約 163

『インターカルチュラル：日本国際文化学会年報』編集要項 165

『インターカルチュラル：日本国際文化学会年報』投稿規程 167

平野健一郎賞規程 168